



家庭学習の手引き



篠山市立城東小学校

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となる大切なものだと考えます。その中でも家庭学習は、学校で学んだことを身につけるために、また自ら学ぶ習慣をつけるためにとっても重要なものです。本校では、各学年でそれぞれのねらいを持って、いわゆる「宿題」を出しています。しかし、家庭では、宿題以外の学習をどうしたらよいかわからず、一方的に「勉強しなさい」で済ませてしまうという傾向が多く見られます。

この「家庭学習の手引き」は、お子さんと一緒にご覧いただき、家庭で学習をする際の手がかりとしてご活用いただければ幸いです。

学習時間の目安

学年 × 15~20分
(例 2年生では、30分~40分)

※学習時間はあくまでも目安です。理解するまでにかかる時間には個人差がありますので、子どもの力や学習の内容に応じて時間を決めましょう。大切なのは、毎日少しずつでも机に向かうことです。

家庭学習を習慣化させるポイント

○学ぶ雰囲気をつくりましょう

- ・学習時間を決めましょう。子どもが学習している時間は、まわりの大人もテレビの音をおさえて環境を整えたり、外出などの用事を入れないようにしたりして、子どもの学習時間を確保できるようにしましょう。
- ・テレビやゲームの時間など、家庭での約束事やきまりを守らせましょう。
- ・身のまわりの整理整頓をし、マンガなどの気の散るような物は近くに置かないようにしましょう。

○子どものがんばりを認め、励ましましょう

- ・ものごとをやり遂げる成功体験により、子どもは自信を持ち意欲を高めます。「よくできたね」「きれいに書けたね」など、がんばりを認める言葉かけをしましょう。

○子どもとの対話を深めましょう

- ・学校でのできごとや学習の様子を聞き、子どもが学校でがんばっていることや困っていることを理解しましょう。
- ・買い物や手伝いなど家庭ならではの学びの場を工夫してみましょう。

1・2年生 目標:基本的な学習習慣を身につけよう

◆1・2年生はこんな時期です◆

- ・「何でも知りたい」「もっとできるようになりたい」と思っています。
- ・がんばったこと、よいところを「ほめてほしい」と思っています。
- ・一人で学習することや、やり方を決めることは難しいです。

家庭学習のヒント

- ・教科書などを、句読点に気をつけながら大きな声で読む。
- ・読書の時間を確保する。
- ・鉛筆を正しく持って、姿勢よく書く。
- ・筆順や文字の大きさに気をつけて、ひらがなやカタカナ、漢字を正しくていねいに書く。
- ・教科書の内容を書き写したり、覚えたりする。
- ・助詞「て・に・を・は」や促音「っ」に気をつけて、できごと等を文章で書く。
- ・学校や家庭でのできごとを家族と対話する。
- ・たし算・ひき算・かけ算の九九ができるようくり返し練習をする。
- ・時計の針を見て何時何分かを讀んだり、30分後の時刻などを言う練習をしたりする。
- ・ものさしを使って長さを測ったり、直線を正確に引けるように練習したりする。
- ・かけ算の九九が、すらすら言えるように唱えながら練習する。

〈かかわり方のポイント〉

☆いっしょにして、やる気をおこす☆

- 子どもにあった学習内容ややり方をいっしょに考えましょう。
- 自力で学習が進められるようアドバイスをしましょう。
- 正しい鉛筆の持ち方を身につけましょう。
- できたことやがんばったことをほめましょう。
- 少ない時間でも決まった時間に、机に向かわせましょう。
- どうしても学習に飽きてしまうときは、お絵かきなどで机に向かわせましょう。
- テレビの音量を下げるなどの協力をしましょう。
- 学校からの連絡や宿題をいっしょに確かめましょう。
- 次の日の学習に使う道具などをいっしょに準備しましょう。
- いっしょに本を読んだり、自然や人とふれあったりする体験をしましょう。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」「あいさつ」などの基本的な生活習慣を身につけさせましょう。



3・4年生 目標：自分から学習を進める力を身につけよう

◆3・4年生はこんな時期です◆

- ・何にでも興味を示し、行動範囲が広がります。
- ・自分でやろうとすることが増えてきます。
- ・手助けや励まして、やる気が増し、少しずつ自分でできるようになります。

家庭学習のヒント

- ・教科書やノートを見て、その日に習ったことを確かめる。
- ・テストやプリントで間違ったところをもう一度やり直す。
- ・明日の学習内容に目を通しておく。(予習)
- ・教科書の文章を、様子がわかるように声に出して読む。
- ・教科書やドリルをよく見て、漢字の読み書きの練習をする。
- ・主語や述語、段落に気をつけて作文や日記を書く。
- ・国語辞典を使い、言葉集めをする。
- ・漢字辞典を使い、漢字の意味や熟語を調べる。
- ・ローマ字を読んだり書いたりする。
- ・いろいろな種類の本を選んで読む。
- ・かけ算・わり算ができるように繰り返し練習する。
- ・三角定規や分度器、コンパスを正確に操作できるように練習する。
- ・地図帳を見て地名を調べたり、47都道府県の位置や名前を覚えたりする。

〈かかわり方のポイント〉

☆認めて、ほめて、自信をつける☆

- 子どもがわからないところと一緒に考えながら、少しずつ自分で学習できるようにしましょう。
- 学習を始める時間を一緒に決めましょう。
- テレビやゲームは家族で話し合って時間を決めましょう。
- 子どものちょっとしたがんばりをほめましょう。
- 学校からのプリントを手渡しているか確認しましょう。
- 宿題を自分で確認させるようにしましょう。
- 翌日の学習や用具の準備を確認させるようにさせましょう。
- 子どもが興味をもったことを本や辞書などで一緒に調べてみましょう。
- 子どもと一緒に読む本を選びましょう。
- キャッチボール、なわとび、百人一首や将棋など、一緒に遊ぶ機会を持ちましょう。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」「あいさつ」などの基本的な生活習慣を身につけさせましょう。



5・6年生 目標:自分から学習を進める力を伸ばそう

◆5・6年生はこんな時期です◆

- 自分のことは「自分でできるようになりたい」「自分でしたい」と思っています。
- 得意教科、不得意教科が出てきて、学習意欲に差が出てきます。
- 大人の言葉がけで、学習に対する意欲や関心が大きく左右されます。

家庭学習のヒント

- 習った学習の復習をする。
- テストやプリントで間違ったところをもう一度やり直す。
- 明日の学習内容に目を通し、音読したり問題を解いたりしておく。(予習)
- 音読や読書をする。
- 詩や俳句、短歌などを暗唱する。
- 習った漢字や熟語を入れて文作りをする。
- 小数のかけ算、わり算を繰り返し練習する。
- 分数のたし算、ひき算、かけ算、わり算を繰り返し練習する。
- 単分量あたりの問題を解く。
- 算数のドリルを活用するなどして、文章問題を解く。
- 地図帳を活用し、世界の国の名前や位置を覚える。
- 歴史上の人物や出来事をまとめる。
- 新聞記事を読み、感想をまとめる。
- パソコンでローマ字入力をする。
- 自学ノートを作り、まとめる。



〈かかわり方のポイント〉

☆手をかけず、目をかけて、見守って伸ばす☆

- 子どもが計画を立てて、自力で学習を進められるように見守りましょう。
- 子どもの自主的ながんばりをほめましょう。
- 学習内容や時間帯など、自分にあった学習の仕方を考えさせましょう。
- 新聞やニュースなどを話題にして社会への関心を広げましょう。
- 学校生活でのできごと、将来の夢、悩みや不安などについて、家族で対話を深めましょう。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」「あいさつ」など、よい生活習慣がつくように見守りましょう。
- 家族の一員として、毎日のお手伝いや役割を決め、学習した内容を生活の中に生かす工夫をしましょう。